

真庭なりわい塾第7期 10月講座

農山村の100のナリワイ

100のナリワイ = 百姓？

あなたの仕事観・労働観に刺激を与える！

駒宮博男

「ナリワイ」とは何か？

Goo辞書より

1. 生活を営むための**仕事**。
2. **五穀**が実るようにつとめるわざ。**農業**。また、その作物。

初期のなりわい塾の中心的ミッション

= 稼ぎ・務め・暮らしのバランスを考える

(当たり前の生きることの意味を考える)

- 稼ぎ : 暮らしの為のなりわい
- 務め : 地域社会への貢献
- 暮らし : 家族・個人の衣食住など

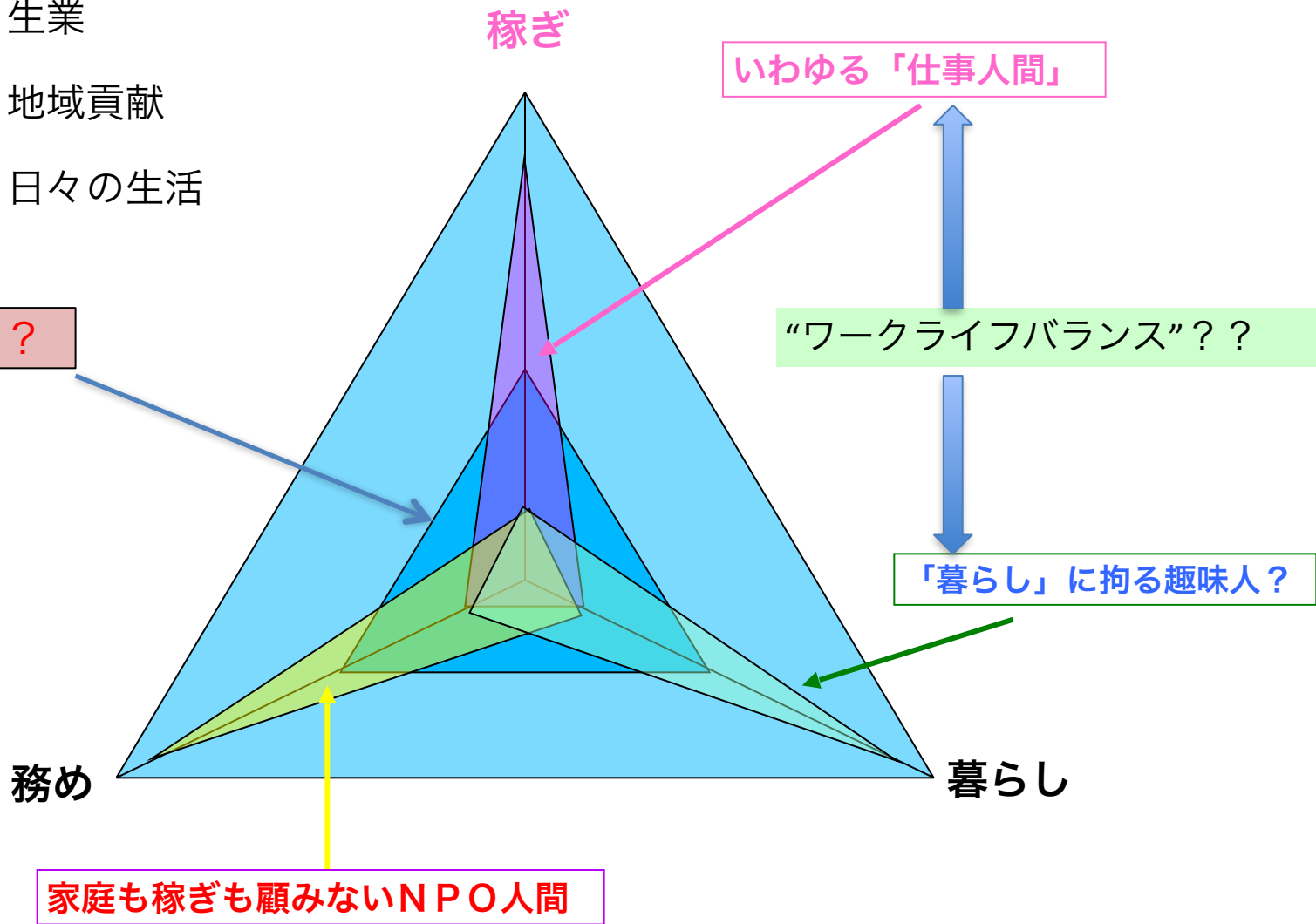
バランス良い稼ぎ・務め・暮らしを求めて

「稼ぎ」 = 生業

「務め」 = 地域貢献

「暮らし」 = 日々の生活

豊森の理想??



果たして、皆さんは「自立」しているか？

・・・「自立」の為の稼ぎ・暮らし・務めのバランス・・・

- 稼ぎ中心の「会社人間」
 - ・ 教育、衣食住など、暮らしは奥さんに依存？
 - ・ 自治体地域活動等は、参加せず？
- 暮らし中心の趣味人
 - ・ 稼ぎは二の次（誰かに依存）？
- 務め中心のボランティア人間
 - ・ 稼ぎは二の次（誰かに依存）
 - ・ 暮らしも二の次（誰かに依存）
- **かつては、生きること＝働くこと**
 - ＝稼ぎ・務め・暮らし**
 - ⇒ みんな「自立」していた！！**

しかし、「稼ぎ」、「暮らし」、「務め」が、判然としないという多くの声が？

最近私が強調しているなりわい塾のミッションは・・・

「買う」から、「作る」へ

そこで、もう一度、「ナリワイ」を考えることに！

いい本を見つけました ！
労働の専門家が、江戸時代のことを書いてくれた

ちょっと、覗いてみよう ！

(現在の”ナリワイ観”は、昔からのものではない！)

『仕事と日本人』（武田晴人）を読んで

・・・暮らし・稼ぎ・務めへのプロローグ・・・

仕事と労働

休日

生産性向上

「仕事」と、「労働」の違い

(出典：『仕事と日本人』（武田晴人）)

- 「労働」は明治以降に作られた造語
 - ・ “Labour”の訳語としての「労働」（労働）
 - ・ 「働」という字は和製漢字！（日清戦争以後？）
 - ・ それ以前は、「力作」、「勤勞」、「勞働」
- 江戸までは「仕事」だけ
 - ・ 主要な仕事は農業
 - ・ 「仕事」と「生きること」の区別は不明瞭
- 「労働」の起源
 - ・ 労働（体を動かす）から労働（骨折って働く）へ
 - ・ 時間の概念が「労働」を生み出した
 - ⇒ 「怠惰」が駆逐され、「労働」が成立！
- 日本と欧州の労働観の違い
 - ・ 欧州社会：聖職者、貴族・騎士、奴隷
 - ・ 奴隷のみ労働を行なう（神の罰としての労働）
 - ・ その後、プロテスタンティズムにより、労働を正当化！
詳しくは、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（マックス・ウェーバー）

労働時間の推移

- 生産の合理化（ロボット等）により、急速に労働時間が減少することが予想された（1973年）
 - 1970年大阪万博、1985つくば科学博
 - 産業用ロボットは、1960年代から開発され、1970年代実用化
- 「20世紀の危機」（江藤瀋吉 国際関係論）
 - 東大に初めて「国際関係論」講座ができ、初代教授に江藤が
 - 20世紀3つの負い目：人口爆発、核兵器、余暇の増大
 - 「余暇の増大」が「危機」である意味は？
 - 余暇に何をすることが未来社会の課題（趣味の奨励！！）？
 - 現実には、労働時間は減少しなかった！
 - 「余暇」を、「失業」と読み替えれば、危機の意味はよく分かる
- AI、ロボットの普及は何をもたらすのか？
 - 雇用の減少をどの程度もたらしたか？今後もたらすか？
 - 雇用減少の技術は、「非適正技術」？（シューマッハー）

非労働時間（休日等）の推移

- 「遊び日」の増加

- そもそも、決まった休日はなかった！
- 江戸後期の休日は、50日～60日
（会津藩では、80日！）
- 多様な「祭り」の創造による休日創造？

何のお祭りだがよく分からないが、とにかく酒が飲める？

庚申様の日は、徹夜で飲まないと災難に遭う？？？

- 地域の自治による「遊び日」の決定
 - 明治以降、太陽暦採用、日曜休日
-
- 非生産期間である「教育」の捉え方

- 「勉強は商売のじゃま！」（中京・阪神圏）：『坂の上の雲』（司馬遼太郎）
- 教育でどれ程生産性は向上しているか？



唐代の中国の書『太上除三尸 九虫保生經』にある三尸の画。
向かって右から順に上尸、中尸、下尸。

生産性向上はどうしても必要か？

(人間は無意識のうちに年率3%生産性を向上させる)

- 本当なら、労働時間減少 ⇒ 余暇の増大 ？
 - ・ 江戸期に見る「遊び日」の増大
- 歴史的には、搾取による余剰価値の創出
 - ・ 古代の様々な建造物は、余剰価値の集積物か？
 - ・ 資本主義的拡大再生産
- 庶民は大昔から**非生産的行為**を行ってきた！
 - (生産性の低い社会でも、非生産的行為はあった)
 - ・ 伊勢参り、富士講
 - ・ **カイラス巡礼**を経済学的にどう考えるか？
 - ・ 仏教社会に於ける「乞食」は？ (贈与の強制??)

カイラス山の五体投地

チベット仏教・ボン教・ヒンドゥー教・ジャイナ教の聖地で、
信者は一生に一度は訪れ、五体投地をしたいと願っている！

国際的には、世界の最貧地域でありながら・・・



<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Desert/3657/kailas.htm>より

40年程前、チベットの首都にある
ポタラ宮で現物を見ました。



<http://www.yunnan-k.jp/yunnan-k/36-20160319/897-20160319-36-01-fujimoto.html>より

労働は「賃金労働」だけか？

(イヴァン・イリイチの“シャドーワーク”を考える)

通勤、
サービス残業？

この部分だけが、「賃金労働」

水面下の世界

- ◆この部分が「シャドーワーク」
 - ・家事労働、妊娠・出産・子育て・教育
- ◆本来は、**上部がシャドーワーク**？
 - ・この部分が人間活動の中心？
 - ・賃金労働はこの部分を支える側
- ◆**贈与**を目的とする農業もこの領域？
 - ・目的が贈与であれば賃労働ではない
- ◆いわゆる「**務め**」もこの部分
 - ・地域での奉仕活動、祭り等々

いつの間にか、**お金中心**の経済構造が出来上がった

- "Good Economics for Bad Times" (デュフロ他) に見る事例
アフリカのある国で、農村から追い出された農民がスラム形成
農村では自給していたため、年収はほぼ"0"
スラムでわずかな賃金 (1\$/日) をもらう
→ 「GDPは増加した！」と、政府の役人は言うらしい！
- "Local is Our Future" (ヘレナ・ノバークホッジ) に見る事例
インド支配前のラダックでは、豊かな自給的生活だった
インド支配下になり、安い食料が一気に乱入
→ 若者は、首都のレーに出稼ぎ
→ チベット仏教徒とイスラム教徒の殺し合いも

• 江戸時代は自給だけ？ (実はそうでもない)

「郡上一揆」に見る貨幣経済

多くの農民はお金を持っていた。

そのお金を出し合って、江戸に籠訴に行く！

ここで発想を変えて、「非貨幣経済」を考える

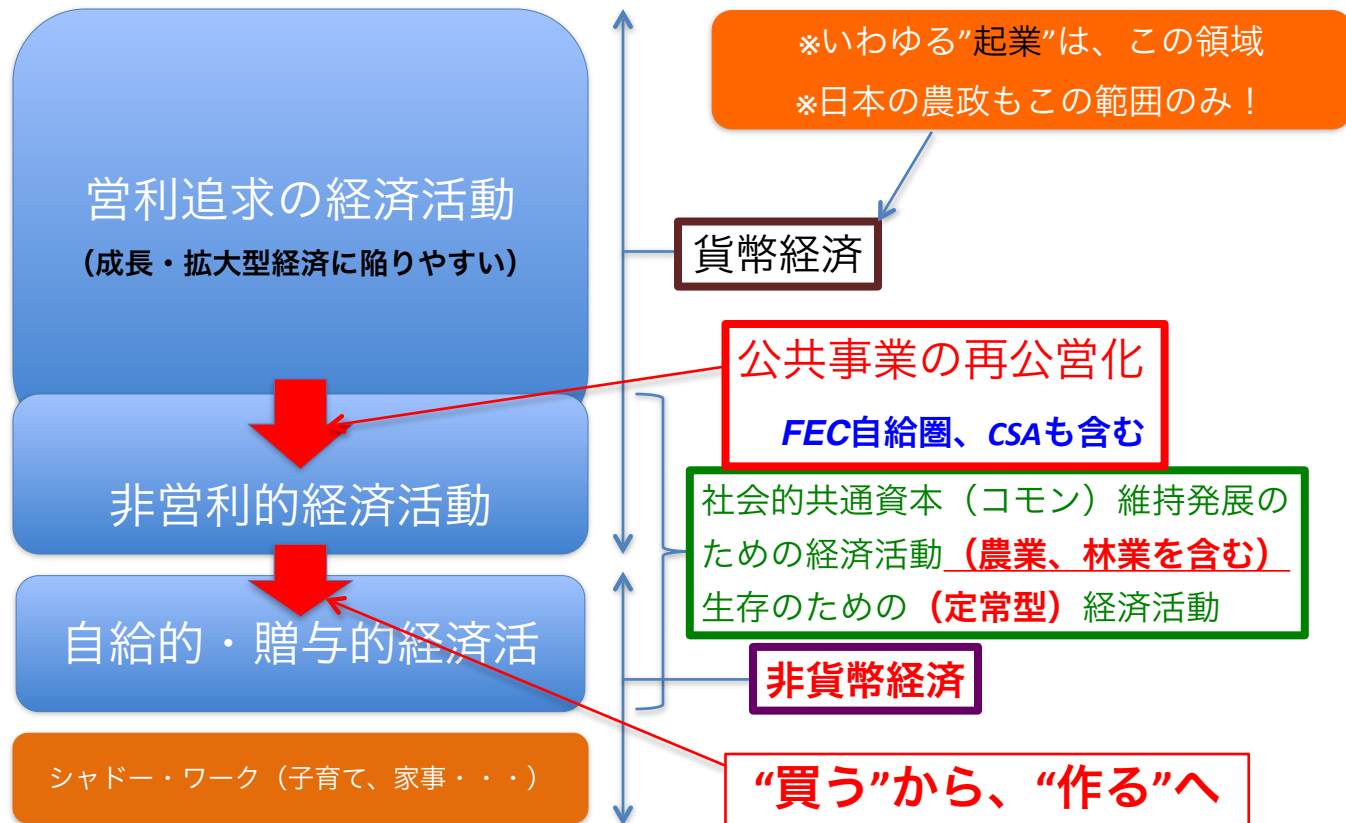
- ・そもそも現在の経済学は、非貨幣経済を無視している
「"買う"から"作る"へ」とは、非貨幣経済を再考すること？
- ・生きる上で最も大切なものは、自分で作りたいという欲求
安心安全な食、安定供給されるエネルギー等への漠然とした欲求
(コロナ、ウクライナ等に左右されない生活は可能か？)
- ・アジア、アフリカ、南米等、多くの地域は自給経済圏だった
自給(非貨幣経済)を誰に奪われたのか？
多くの地域では、植民地主義、グローバリズムが奪った
しかし、日本の場合、「近代化」が奪った？
- ・食、エネルギー、教育、医療、福祉を自給できないだろうか？
自給でなくとも、贈与・交換、更には非営利組織も含め、地域で
(FEC(Food+Energy+Care)自給圏)という発想はどれほど現実的か)

非貨幣経済を土台とした地域経済を考える

- **なぜ、お金が動かないと、経済学の俎上に載らないのか？**
 - 経済学発祥の地である欧州は、古くから**重商主義**
歴史的には、農奴→植民地に、農業依存
しかし、食を他国に依存することの危険性を知り、自給率は高い
 - アジアは元々自給経済が中心で、特に江戸時代の日本は**農本主義**
- **自給・贈与・交換という「非貨幣経済」が中心の経済構造の復活は可能か**
 - 目指すのは、無理せず自給率を上げられる生活形態
週休3日、リモートワークの常態化が自給を可能とする
- ところで、**地域の中小零細事業者**は、「営利活動」を行っているか？
 - 儲けることではなく、家族の生活の糧、地域内雇用創出が目的では？
せいぜいいい車に乗って、時々グルメを食べる位は、金持ちとはいえない？
本当の金持ちは、お金そのものを如何にして増殖させるかを考えている！
- **本当の営利組織は、グローバル企業だけ？？**
 - 多くの場合、グローバル企業の孫請け・曾孫請けは、非営利では？
- 非貨幣経済の上に乗るのが、「**非営利活動**」では？
 - 教育・医療・福祉は、基本的には「非営利」
 - 地域の小売、サービス業も基本は「非営利」では？

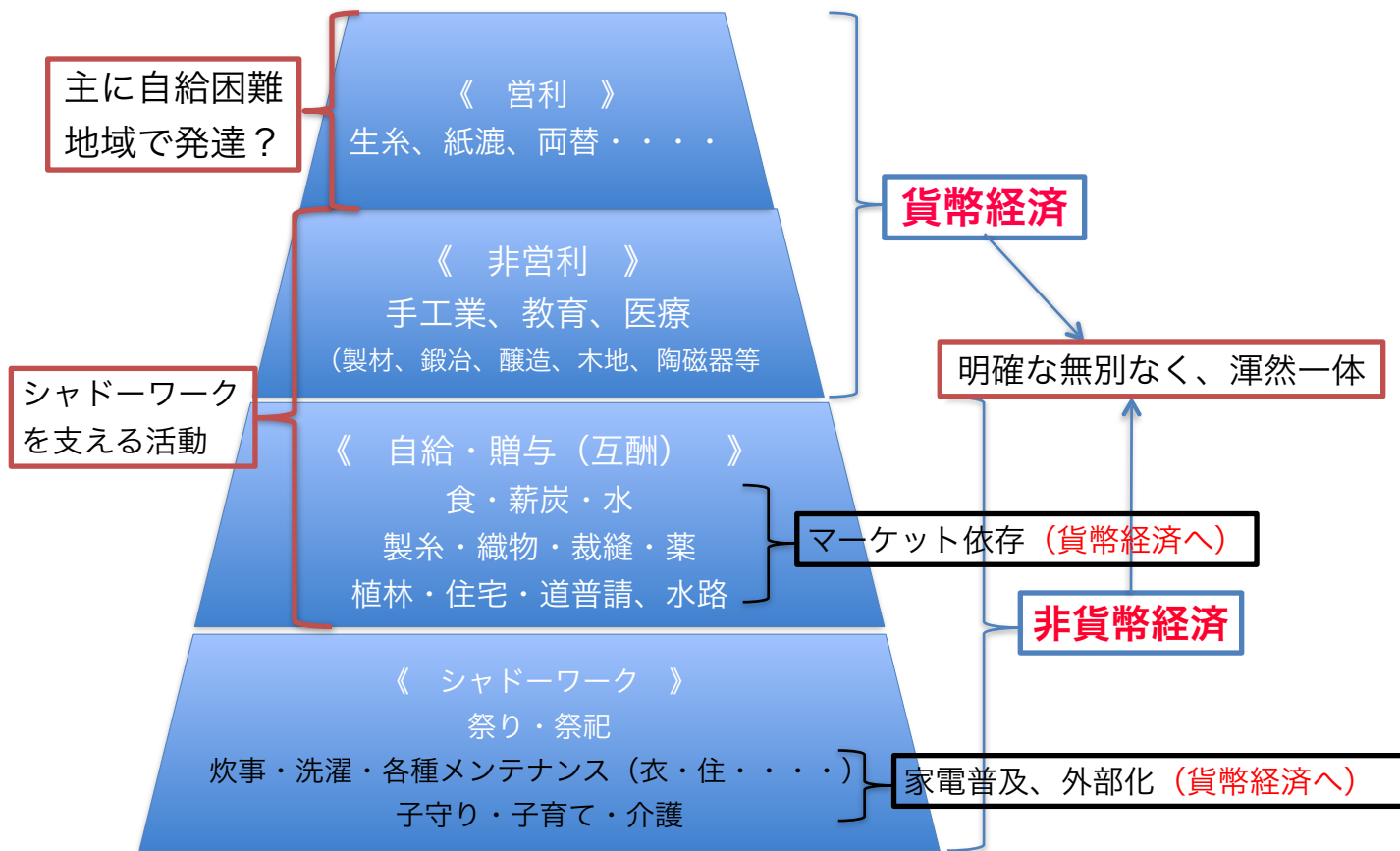
新たな経済構造試案（食と農の復習）

（非貨幣経済も含める）



ひと昔前の経済構造（食と農の復習）

（フィールドワークで少しは分かるかも？）



(参考) 昔はどうだったか・・・集落毎の職人の数 (恵那市の事例)

明治5年の村別職業

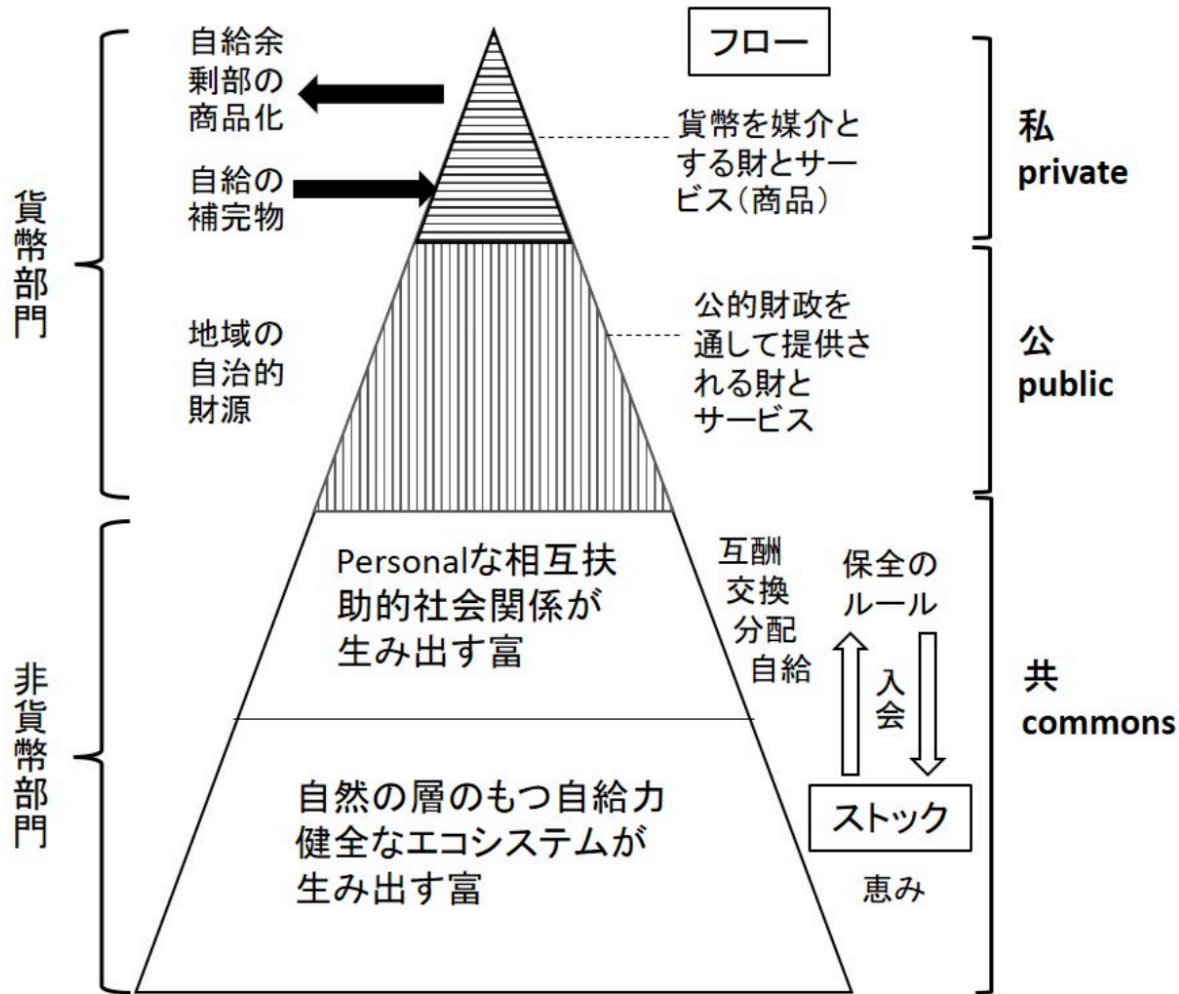
村名	石高	石/人	戸数	人口	馬	農業	農%)	職人等の人数																					
								大工	杣	木挽き	板扮師	桶工	石工	左官	鍛冶	陣抄	紺屋	紙漉	味噌造	醤油	酒造	油搾り	旅籠屋	馬喰	質屋	医師			
東野	1,230	1.03	262	1,193	143	252	96.2	2		2		1			2		2												1
大井	674	0.66	273	1,026	88	231	84.6	6					1	1				2		3		27				1		1	
正家	900	2.65	84	340	41	76	90.5					2		1		2				2	1								
中野	531	1.01	117	524	22	108	92.3	1				1				1	1			2	2							1	
永田	308	1.20	54	256	20	48	88.9				3	1				1	1												
久須見	1,057	1.36	161	778	71	156	96.9	3			1	1																	
野井	581	0.77	144	752	48	137	95.1	1		2	1						1			1	1								
佐々良木	641	0.87	155	734	45	150	96.8	1	1							1	1											1	
殿彦	35	0.31	22	113	2	22	100.0																						
椋実	96	0.55	35	173	13	33	94.3	1				1																	
竹折	494	0.66	172	754	59	164	95.3	1							2		2			1	2								
藤	962	1.06	193	910	43	183	94.8	1	1					1		1					3				2			1	
毛呂窪	463	0.79	115	586	84	97	84.3	10		2		1	1	2							2								
姫栗	310	0.62	85	503	70	78	91.8	1	1			1				1					2							1	
中野方	568	0.44	247	1,298	188	206	83.4	3		29		3			1		1			1	2							1	
河合	205	0.41	86	499	56	76	88.4	5				1			1						2							1	
飯地	528	0.50	204	1,060	85	190	93.1	3				3			2	1					3							2	
合計)	9,583	0.83	2,409	11,499	1,078	2,207	91.6	39	3	39	1	15	3	1	12	1	12	4	2	2	24	4	27	2	1		10		

	農家	大工	杣	木挽き	板扮師	桶工	石工	左官	鍛冶	陣抄	紺屋	紙漉	味噌造	醤油	酒造	油搾り	旅籠屋	馬喰	質屋	医師
世帯当たり%	91.61	1.62	0.12	1.62	0.04	0.62	0.12	0.04	0.50	0.04	0.50	0.17	0.08	0.08	1.00	0.17	1.12	0.08	0.04	0.42

生活にとって必要最小限の産業構造は、この位かも知れない

誰か同じ考えの人はいないかと調べたら・・・

『コモンズの経済学』（多辺田政弘）より



多辺田が唱えた「健全なエコロジーがささえる経済」モデルの図（多辺田政弘『コモンズの経済学』より）

経済学の枠を超え、自然資源を包括的に考えているところが素晴らしい！

(補足) 一応押さえておくべき経済の現状

現在進行中の、経済・労働環境はどうなっているのか

(H28,29年に出された経産省レポートがまさに進行している)

既に始まっている第4次産業革命

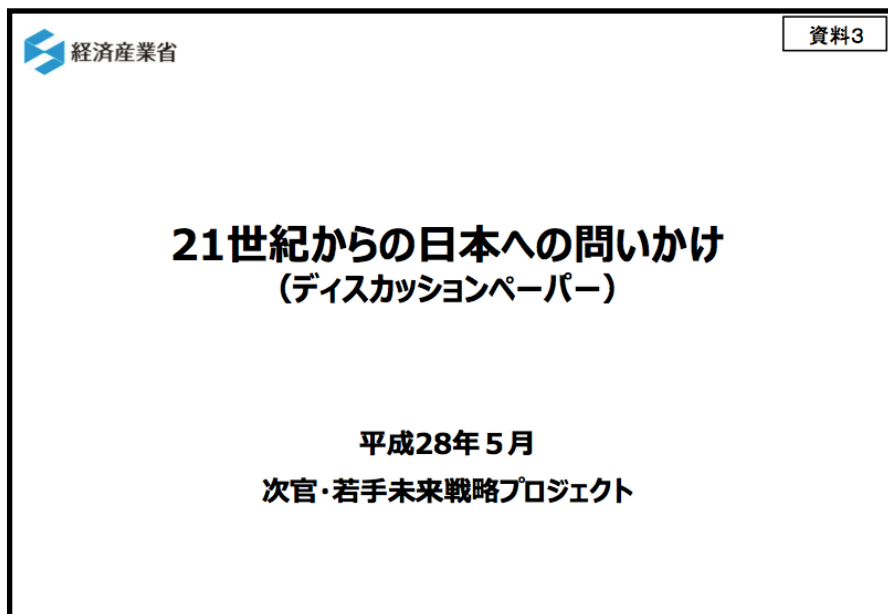
地域経済、地域での生活は一体どうなるのか???

- 経済産業省 次官＋若手グループのレポート

H28年：『21世紀からの日本への問いかけ』

H29年：『不安な個人、立ちすくむ国家』

(モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか)

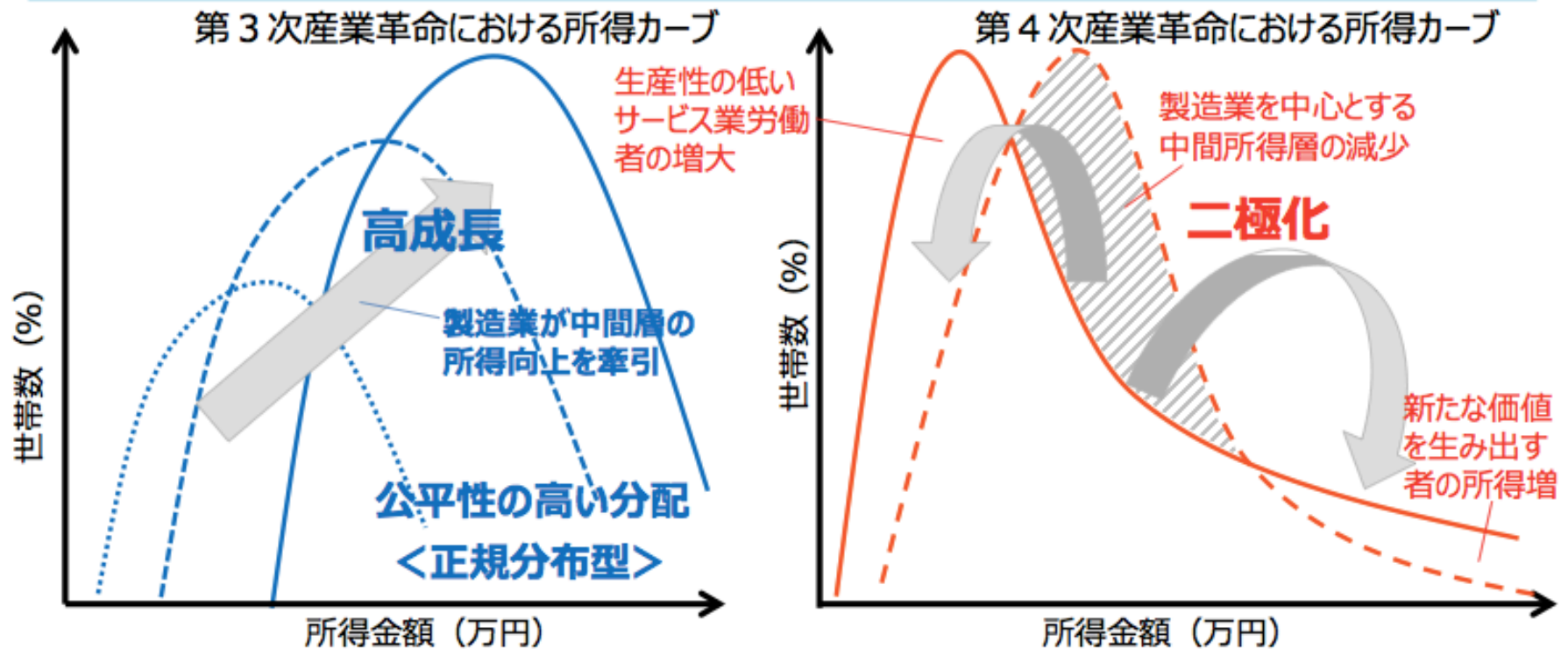


H28年のレポートより・・・(1)

1. グローバルトレンド (3) 差異化による利益偏在のインパクト

④第4次産業革命における二極化の進行

- 第3次産業革命までは、製造業の工場労働に支えられ、分厚い中間層が生まれることで、経済成長と公平性が両立できた。
- 今後、労働代替と、世界の均質化が進めば、二極化による中間層の没落や格差の拡大が進むのではないか。

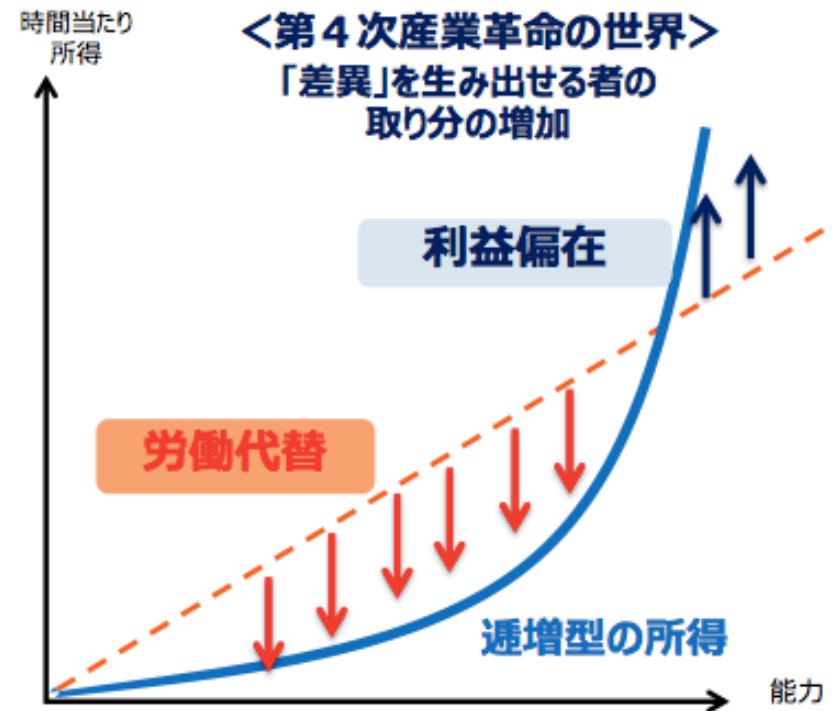
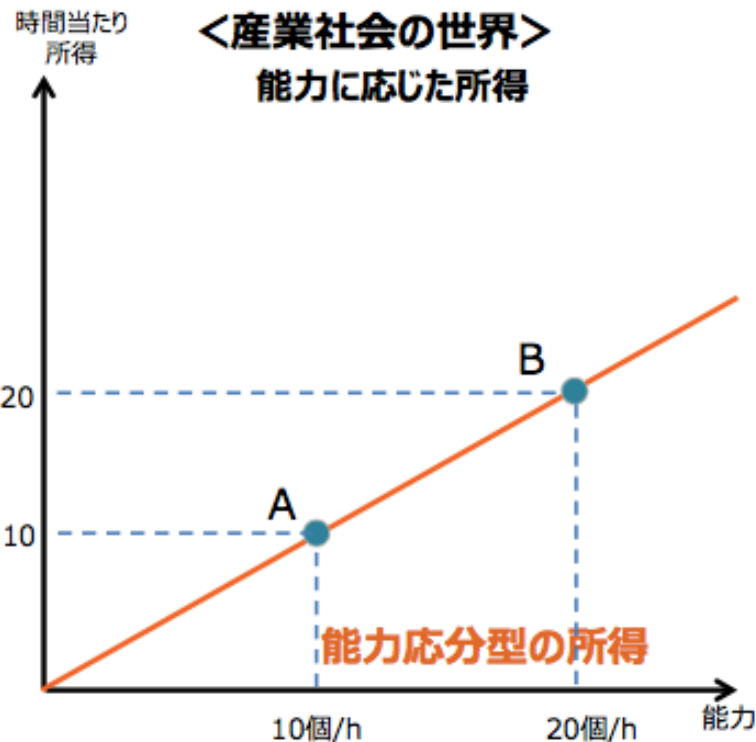


H28年のレポートより・・・(2)

1. グローバルトレンド (3) 差異化による利益偏在のインパクト

③利益偏在が所得構造に及ぼす影響

- 均質化した世界では、「差異」を生み出せる者だけが多くの取り分を確保でき、その他の労働者の取り分は減少するのではないか。
- 結果として、上位所得層に富が集中（「差異化」による利益偏在）する傾向が強くなるのではないか。

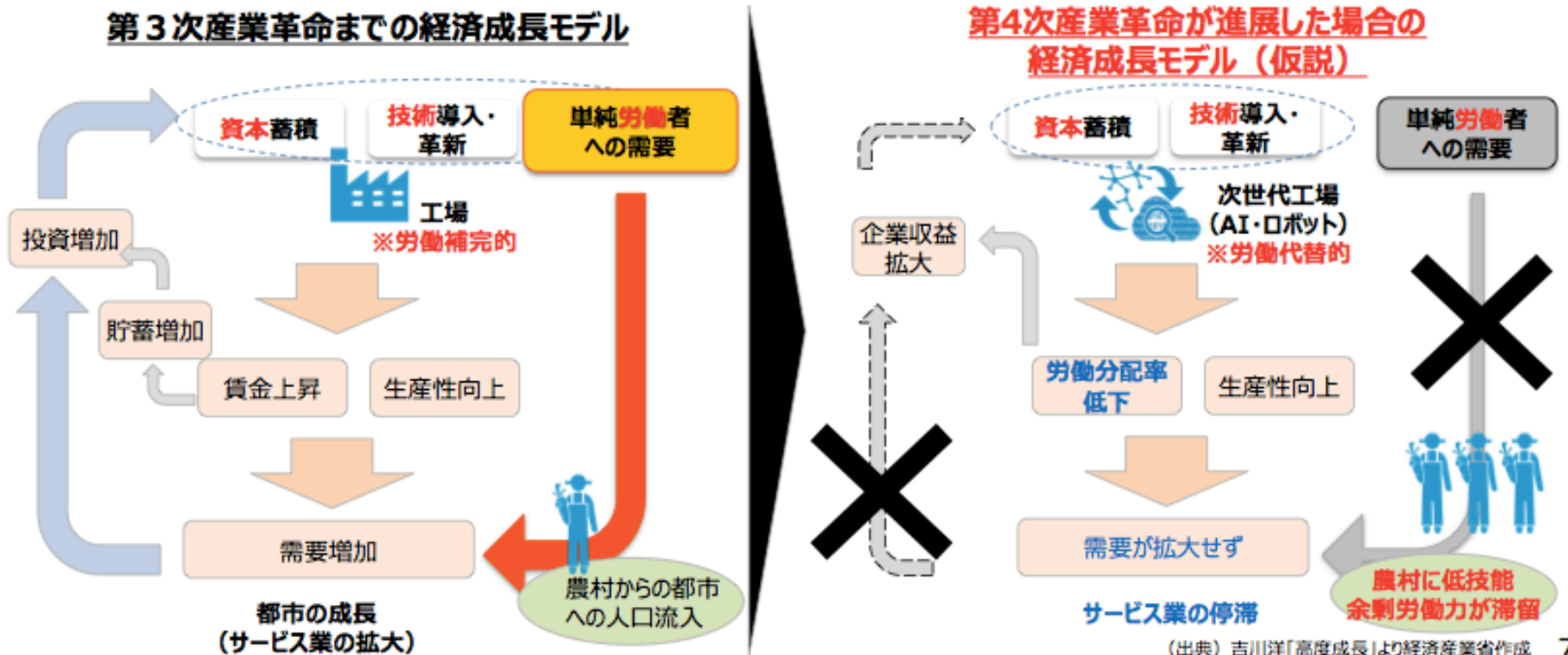


H28年のレポートより・・・(3)

1. グローバルトレンド (2) 労働代替効果のインパクト

②労働代替効果による経済成長モデルの変化

- 第3次産業革命までは、工場で雇用が生まれ、農村から労働力が供給されることで、需要が増加し、更なる投資拡大をもたらすという経済発展モデルが存在。
- 第4次産業革命で労働代替（無人化）が進展すると、工場で雇用が生まれなため、労働力が吸収できず、従来型の経済発展の「方程式」が通用しなくなるのではないかと。

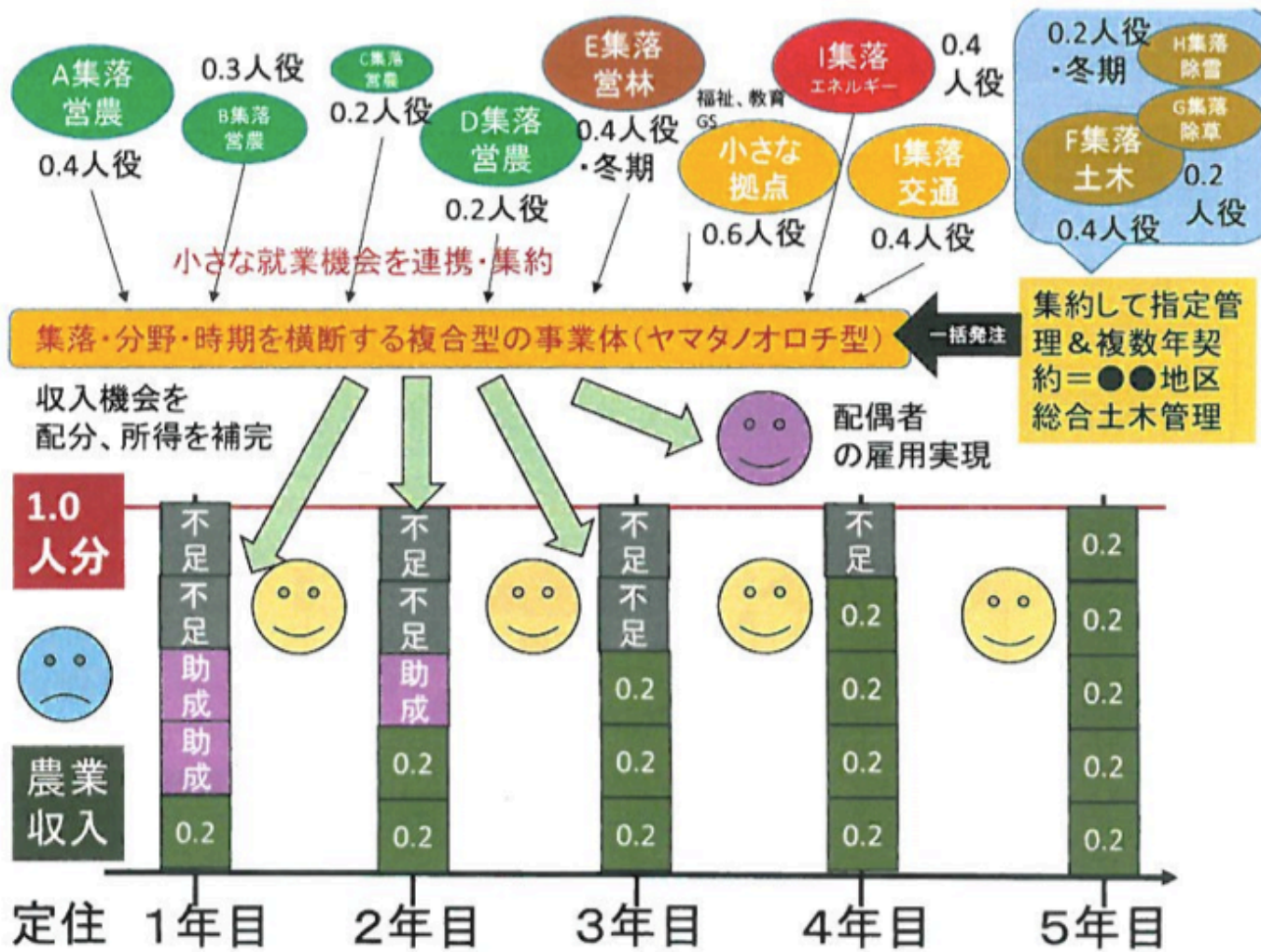


こうした現状を頭に入れながら

「100のナリワイ」とは . . .

(なりわい塾的「百業」の奨め 自給も含め)

「100のナリワイ」の具体的なイメージ（藤山案）



5年間で、ゆっくりと「農」をナリワイにする

(参考) お金を稼ぎたい人は6次産業へどうぞ

一次

二次

三次



玄米 :



200円/合

どこが儲かるかは一目瞭然！
農業だけでは儲からない！
農家レストランは儲かるかも？



小麦 : 3円/100g



製麺 : 30円/100g



パスタ : 700円

最近はやりの「起業」は地域経済にとって・・・



このショートケーキは、1 cut 幾らでしょう？
(隣同士で1分雑談！！)



銀座の店舗

※ 地域外部にマーケットを設定すると・・・
⇒ 地域は結局「ベッドタウン化」する！



循環型経済は推進出来ないが、人口は増加？

色々あるけど、実はなんとかなる！！

- ・「ビジネスモデル」に惑わされない

ビジネスモデルがないと田舎で暮らせない????

(これは、経済活動＝貨幣経済という呪縛があるから?)

- ・鍵は、地域に溶け込むこと！

地域に溶け込む努力をすると、仕事が舞い込んでくる

- ・食の自給を基本に、その上に貨幣経済活動を考える

食の自給で得られる貨幣価値は、ちゃんとやれば50万円/年?

ちゃんとやるには、保存技術をマスターすること！

食だけでなく、エネルギーが自給できたら・・・

EVが普及すると、食以上の貨幣価値に！

ただし、イニシャルコストはそれなりにかかる

教育も自給したら??

教育費（塾等）は結構お金がかかる！

(高校から下宿だと300万円/3年、大学は平均900万円/4年)

最後に

- なりわい塾的な、新しい「仕事観」、 「労働観」を作らしましょう！！
- 戦後主流となったサラリーマン社会とは . . .
(サラリーマン社会 = 誰かに魂を売る社会)
- 「半農 = 半自給」をベースとした社会への転換！
(この後の塩見さんをご期待下さい (“半農半X”))
- あなた自身の多業、そして、「買う」から「作る」へのバランスを考えて下さい！